

## 事務事業評価調書

事務事業名	青少年指導員活動事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和48年度	改正内容	委嘱要綱の名称を要領に改正											
(2) 直近の改正	平成17年度													
(3) 根拠法令等	吹田市青少年指導員委嘱要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	青少年											
	目標(どういう状態にしたいのか)	青少年指導員による青少年の健全育成・非行防止												
	結果(どのような効果が得られるのか)	青少年の健やかな育成												
(7) 事業概要	<p>青少年の健全育成を推進するため、各地区青少年対策委員会長の推薦を受け、青少年指導員を委嘱(2年任期)。行政と地域のパイプ役、また、地域の青少年対策委員会においては、地域のコーディネーターとして青少年の健全育成と非行防止を図る。具体的な活動内容は、広報・啓発活動、研修の実施、教育委員会からの委託事業(野外コンサート、ヤングフェスティバル、)の受託、環境調整活動等。</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		11,570	10,111	11,071	10,418	11,503							
	人件費	職員数	人	0.70	0.60	0.60	0.60	0.80						
		総額(B)	千円	5,847	4,824	4,902	4,740	6,442						
	総事業費(A+B)		17,417	14,935	15,973	15,158	17,945							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		17,417	14,935	15,973	15,158	17,945						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		17,417	14,935	15,973	15,158	17,945						
財源計(C+D)		17,417	14,935	15,973	15,158	17,945								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	青少年指導員の委嘱人数	目標値	(単位:人)	185.00	185.00	184.00
			実績値	(単位:人)	167.00	172.00	
			達成度(%)		90.3	93.0	
	目標値の積算方法	36小学校区×5名+役員4名	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	89.43	88.13	
				一般財源(単位:千円)	89.43	88.13	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	委嘱地区数	目標値	(単位:地区)	36.00	36.00	36.00
			実績値	(単位:地区)	35.00	35.00	
			達成度(%)		97.2	97.2	
	目標値の積算方法	全小学校区(36小学校区)での委嘱	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	426.71	433.09	
				一般財源(単位:千円)	426.71	433.09	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(3) が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
①	活動内容				目標		
	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	青少年指導員は、市と地域との架け橋となって、青少年の健全育成・非行防止活動に取り組んでおり、今後も継続していく。平成27年度から千里丘北小学校が開校し36地区となっている。地域の団体が整った段階で推薦を依頼していく。					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年指導員活動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00982				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20			
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00982
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

青少年指導員は地区によって、その活動日数は異なるものの、働く現役世代の方が委嘱を受けており、それらの活動は平日の夜の会議、休日の事業開催が主な活動日となっている。市内の全青少年指導員が吹田市青少年指導員会として、月1回、定期的な会合を開催しているが、これらの定例的な会議のほか、拘束時間の長い地域行事(カーニバル、地域の祭り、講演会、ハイキングなど)の準備や運営に携わることも多く、地域の体育祭など他団体の行事スタッフとしても活動している。また、地域内の危険箇所の点検、パトロールなど自律的・独立的な活動を行っており、通勤時などに青少年がたむろしていれば、声かけ活動を行うなど、日常的に活動する場面があり、これらの活動はすべて把握しきれていない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>青少年指導員は、地域の青少年に関係する各種団体と連携を図りながら、それぞれの地域で青少年の健全育成・非行防止活動の中心的役割を担っている。 また、大阪府から委託を受けて青少年社会環境実態調査を実施し、同時に書店やコンビニ等の有害図書類を扱う店舗の経営者に対して青少年健全育成への協力を求める文書を配布した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市成人祭事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年	改正内容	主催を教育委員会単独から市との共催とした。また、従来2回に分けて開催していた式典を1回とし、新成人スタッフ等による「二十歳のつどい」を実施することとした。											
(2) 直近の改正	平成12年													
(3) 根拠法令等	国民の祝日に関する法律(昭和23年)、文部次官通達(昭和31年)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市在住の新成人												
	目標(どういう状態にしたいのか)	大人としての自覚と責任ある行動が期待される青年を祝い励ますことにより、青少年の健やかな育成を図る。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	国民としての権利と義務を負う社会人の醸成。												
(7) 事業概要	新成人を対象にして、毎年国民の祝日である「成人の日」に吹田市文化会館において、「式典」及び催しコーナーなどを含む「二十歳のつどい」を開催する。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	02
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,966	2,867	2,964	1,002	1,573							
	人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60							
		総額(B)	千円	5,012	4,824	4,902	4,740							
	総事業費(A+B)		7,978	7,691	7,866	5,742	8,015							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		7,978	7,691	7,866	5,742							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		7,978	7,691	7,866	5,742	8,015								
財源計(C+D)		7,978	7,691	7,866	5,742	8,015								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 吹田市成人祭実行委員会											
			② 民間警備会社											
			主な委託内容	③ 「二十歳のつどい」運営業務										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先		①										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	成人祭参加者数	指標内容	目標値	(単位:人)	2,800.00	2,900.00	/
			実績値	(単位:人)	2,000.00	2,000.00		
			達成度(%)		71.4	69.0		
		目標値の積算方法	対象者の80パーセント	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.85	2.95	
	一般財源(単位:千円)			3.85	2.95			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	成人祭実行委員会協力団体	指標内容	目標値	(単位:団体)	6.00	6.00	/
			実績値	(単位:団体)	6.00	6.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
		目標値の積算方法	過去の協力団体の実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,281.83	984.00	
	一般財源(単位:千円)			1,281.83	984.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>成人にとっては「生涯に一度の成人式」であるため、開催する意義は大きい。全市をあげて新成人の門出を祝福するため、平成12年度から主催を吹田市教育委員会として実施している(それまでは吹田市教育委員会単独主催)。</p> <p>また、厳粛な式典を挙行できるよう式典は1回とし、その他にも新成人スタッフ等の参画により、手作りイベント「二十歳のつどい」を開催している。</p> <p>警備の強化などにより、他市に見られるような混乱はなかったことから、現在の進め方を基本に、今後は、「催しコーナー」等の内容を充実させ、より一層新成人にとって思い出に残る企画を開催する。</p> <p>平成28年度は、記念品を廃止して、平成29年度は新たに新成人応援事業を実施。</p>					

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田市成人祭事業	事業区分	その他
事務事業番号	00983				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	青少年室	事務事業番号	00983
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>毎年、成人祭終了後すぐに、翌年度の成人祭開催に関する問い合わせが多く、特に進学・就労などで吹田を離れている新成人にとっては、久々の友人との再会を楽しみにしており、思い入れが強いものであると考える。</p> <p>成人祭を運営するにあたり、式典の司会は新成人が行うなど、新成人による企画立案を行っている。</p> <p>さらに、安全確保のための交通整理は、警備業者のほか、青少年関係団体のボランティアの協力を得て、全市をあげて成人を祝う催しとして開催している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市子ども会スポーツ大会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和44年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田市子ども会スポーツ大会実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	青少年												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	子ども会のスポーツ活動の推進による青少年の健全育成												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の体力、協調性の向上													
(7)	事業概要	市内の子ども会加入の小学生を対象としたスポーツ大会を開催している。 競技種目はソフトボール(男子チーム又は男女混成チーム)、キックベースボール(女子チーム)を開催している。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	03
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		297	297	297	297	297							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
			総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	2,416						
		総事業費(A+B)		2,803	2,709	2,748	2,667	2,713							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		2,803	2,709	2,748	2,667	2,713						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
	一般財源		2,803	2,709	2,748	2,667	2,713								
財源計(C+D)		2,803	2,709	2,748	2,667	2,713									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市子ども会育成協議会										
				②											
				③											
			主な委託内容	事業の実施											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	開催日数	目標値	(単位:日)	3.00	3.00	3.00
			実績値	(単位:日)	3.00	3.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	1日目:開会式・抽選会 2日目:予選 3日目:準々決勝～決勝	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	903.00	916.00		
				一般財源(単位:千円)	903.00	916.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容	出場チーム数	目標値	(単位:チーム)	25.00	23.00
	実績値			(単位:チーム)	22.00	18.00	/	
	達成度(%)		88.0	78.3				
	目標値の積算方法	過去5年間の平均出場チーム数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	123.14	152.67		
				一般財源(単位:千円)	123.14	152.67		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>スポーツを通じ、青少年の体力・協調性を養うとともに、こども会のスポーツ活動を推進し、地区こども会における青少年健全育成に寄与するものであるところから、今後も継続すべきと考えている。しかし、地域の広がりが少なく、毎年同じ地域でのチーム参加になっており、参加チーム数の確保が課題。4市1町の優勝チームで、三島ブロックこども会親善スポーツ大会を開催している。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田市子ども会スポーツ大会事業	事業区分	その他
事務事業番号	00984				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>68</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00984
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>スポーツ活動を行う中で集団性や思いやりを育む取組となっている。          地域ぐるみで練習等に取り組んでいるところも多く、こどものみならず保護者の交流なども行われているもの          と考える。          異年齢のこどもたちが勝敗を第一の目的とするのではなく、力を合わせて取り組むことが競技ではないこども          会の大会と位置付けている。          こども会数が減少している中、参加チーム数の確保が課題であり、この事業を継続していくために、よりふさ          わしい委託先があるかどうか等を含めて関係団体と協議する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田青少年野外コンサート事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和58年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田野外コンサート実施要項													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	20歳以下で吹田市内在住・在学・在勤の青少年を含む、全員が25歳以下(中学生以上)の団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	日頃の音楽活動を野外で発表する機会を提供し、参加者が他の参加グループ・観客・青少年指導員と交流する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の健全育成													
(7)	事業概要	中学生・高校生の吹奏楽部やコーラス部等による野外での演奏													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	04
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		470	470	470	429	470							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
			総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	2,416						
		総事業費(A+B)		2,976	2,882	2,921	2,799	2,886							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		2,976	2,882	2,921	2,799	2,886							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			2,976	2,882	2,921	2,799	2,886								
財源計(C+D)		2,976	2,882	2,921	2,799	2,886									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市青少年指導員会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	参加団体数	目標値	(単位:団体)	18.00	18.00	18.00	
			実績値	(単位:団体)	18.00	0.00		
			達成度(%)		100.0	0.0		
	目標値の積算方法	市内公立中学校・高校数の約8割、4時間30分÷15分	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		160.11	0.00	
				一般財源(単位:千円)		160.11	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	参加人数	目標値	(単位:人)	3,000.00	3,000.00	3,000.00	
			実績値	(単位:人)	4,500.00	0.00		
			達成度(%)		150.0	0.0		
	目標値の積算方法	実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.64	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.64	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成28年度は中学生11団体、高校生7団体、その他3団体の合計21団体の出演を予定していたが、雨天のため中止した。 青少年に野外で発表する場を提供し、グループ間の交流を図るとともに、参加した青少年全員の交流の場を設けることと合わせて、地域の青少年指導員と青少年のつながりをより密にすることを目的に開催しているため、青少年指導員会が本事業を担うことに意味があり、委託事業として今後も継続すべきであると考えている。					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田青少年野外コンサート事業	事業区分	その他
事務事業番号	00985				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	青少年室	事務事業番号	00985
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>共用の楽器を学校から借りるなど、学校との連携の下、実施している。          毎年6月初旬に開催することから、発表に向けて新入生・在校生一体となり、練習に励んでいる。また、部活動の発表の場の機会を増やすとともに、参加団体やグループ間の交流を図り、互いの技術の向上の一翼を担っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	こども文化鑑賞事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和42年度	改正内容	映画上映を見直し、演劇鑑賞に統一											
(2)	直近の改正	平成20年度													
(3)	根拠法令等	こども文化鑑賞事業開催要項													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市内の小・中学生												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	文化鑑賞により子ども達の豊かな情操を育む												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の健やかな育成													
(7)	事業概要	演劇鑑賞を通して、子ども達に夢と感動を与え、豊かな情操を養うことで、青少年の健やかな育成に役立てる。 「市民平和のつどい」の一環として開催しており、子ども向けに平和や友達の大切さを分かりやすくアピールするものを選定している。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	05
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		600	597	600	594	700							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
			総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	2,416						
		総事業費(A+B)		3,106	3,009	3,051	2,964	3,116							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		3,106	3,009	3,051	2,964	3,116							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0									
	その他	0	0	0	0	0									
	一般財源	3,106	3,009	3,051	2,964	3,116									
財源計(C+D)		3,106	3,009	3,051	2,964	3,116									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(財)吹田市文化振興事業団										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	公演回数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	/
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	公演回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,504.50	1,522.50		
				一般財源(単位:千円)	1,504.50	1,522.50		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	参加者数	目標値	(単位:人)	960.00		960.00
			実績値	(単位:人)	558.00	600.00		
		達成度(%)		58.1	62.5			
	目標値の積算方法	平成29年度は千里市民センター大ホール 定員人数(255人)×開催回数(2回)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.39	5.08		
				一般財源(単位:千円)	5.39	5.08		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		演劇の文化鑑賞を通して、子ども達に夢と感動を与え、青少年の健やかな育成に役立っており、子どもの情操を育む事業として必要であると判断し、今後も継続すべきと考えている。場所は例年メイシアターで開催しているが、平成29年度はメイシアター改修工事期間中のため、千里市民センターで開催する。					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	こども文化鑑賞事業	事業区分	その他
事務事業番号	00986				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	青少年室	事務事業番号	00986
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>「市民平和のつどい」の一環として開催している。演劇や人形劇などを通して、人と人の交流や思いやりなどを育むものを提供している。「市民平和の集い」の一環として取り組んでいるため、開催日の設定は制約があるが、平成29年度はこれまで開催していたメイシアターが改修のため、千里市民センターで開催予定である。これまで吹田の南部の方が多かったが、今回は北部の方の集まりやすい場所で開催となり、青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザと連携し、参加促進の呼びかけをしていく。また、アンケートを実施し、見直しできる点については、次年度以降に活かしていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	ヤングフェスティバル事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和63年度	改正内容	申込年齢を29歳以下から25歳以下にした。											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	ヤングフェスティバル実施要項													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	20歳以下で吹田市内在住・在学・在勤の青少年を含む、全員が25歳以下(中学生以上)の団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年が自ら考え実行できるという機会、他の仲間集団と交わる場を提供することにより青少年の自発性・社会性を養う。併せて青少年指導員との結びつきを一層深め、地域の連帯意識を向上させる。												
(7) 事業概要	青少年によるロック・ポップス等の演奏と、ヒップホップ等のダンス													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	06
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		485	482	485	484	0							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00						
		総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	0						
	総事業費(A+B)		2,991	2,894	2,936	2,854	0							
	(内訳)	特定財源(C)		20	17	20	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		20	17	20	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		2,971	2,877	2,916	2,854	0						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,971	2,877	2,916	2,854	0								
財源計(C+D)		2,991	2,894	2,936	2,854	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 吹田市青少年指導員会											
			②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 参加団体数	目標値	(単位:団体)	40.00	40.00	0.00
			実績値	(単位:団体)	33.00	34.00	
		達成度(%)		82.5	85.0		
	目標値の積算方法 8時間÷12分	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	87.70	86.32		
			一般財源(単位:千円)	87.18	86.32		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 参加人数	目標値	(単位:人)	357.00	357.00
	実績値			(単位:人)	407.00	415.00	
	達成度(%)		114.0	116.2			
	目標値の積算方法 実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7.11	7.07		
			一般財源(単位:千円)	7.07	7.07		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>青少年の健全育成を目的としており、その目的を達成するためには、青少年自ら演奏活動等の事業を実施する機会を提供し、その中で異なる世代や他の仲間集団と交流することが大切であるとする。また、地域の青少年指導員と青少年とのつながりをより密にするためにも、青少年指導員会が本事業を担うことに意味があり委託事業として今後も継続すべきと考える。</p> <p>平成29年度は開催会場であるメインアターの改修工事に伴い、休止することとした。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	ヤングフェスティバル事業	事業区分	その他
事務事業番号	00987				

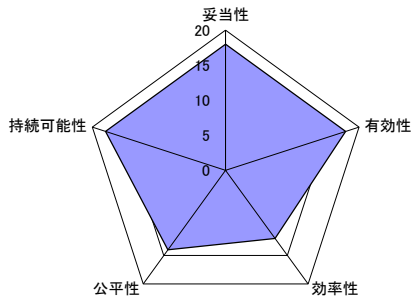
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00987
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>毎年参加申し込みが多く、出演できない団体があるため、平成25年度より申込年齢を29歳以下から25歳以下にした。また、参加団体やグループには、司会や誘導などの役割分担をし、単に出演するだけではなく運営にも関わるような企画をめざして実施している。          未来館の行事に参加している団体、グループにも周知し、参加を呼びかけしている。          平成29年度は開催会場であるメイシアターの改修工事に伴い、休止することとした。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	地域安全・青少年育成吹田市民大会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成8年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	地域安全・青少年育成吹田市民大会実施要項													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民全般												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	安心・安全で住みよいまちづくりを進めるため、広く市民の関心を喚起し、市民運動を展開する												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の健やかな育成													
(7)	事業概要	<p>安心で住みよいまちづくり及び、青少年の健やかな成長を育むことを目的に、家庭・学校・地域・行政が一体となった市民運動を展開するため、毎年10月もしくは11月に「地域安全・青少年育成吹田市民大会」を開催している。 内容は、実行委員会で検討しており、青少年の健全育成に関わる講演や警察による防犯関係の啓発を基本に実施している。</p>													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	07
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,800	1,799	1,800	1,800	0							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00						
			総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	0						
		総事業費(A+B)		4,306	4,211	4,251	4,170	0							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,306	4,211	4,251	4,170	0							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			4,306	4,211	4,251	4,170	0								
財源計(C+D)		4,306	4,211	4,251	4,170	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	地域安全青少年育成吹田市民大会実行委員会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 実行委員会構成団体及び協賛団体数	目標値	(単位:団体)	58.00	59.00	0.00	
			実績値	(単位:団体)	59.00	71.00		
			達成度(%)		101.7	120.3		
	目標値の積算方法	実行委員会構成及び協賛団体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		71.37	59.87	0.00
				一般財源(単位:千円)		71.37	59.87	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 大会の参加者	目標値	(単位:人)	1,500.00	1,500.00	0.00	
			実績値	(単位:人)	1,100.00	900.00		
			達成度(%)		73.3	60.0		
	目標値の積算方法	会場の収容数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.83	4.72	0.00
				一般財源(単位:千円)		3.83	4.72	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		この事業は、吹田市・吹田市教育委員会・吹田警察署・青少年関係団体で組織する実行委員会の四者が共催で、啓発活動として毎年10月に市民大会を開催しているものである。ネットワークの輪がさらに広がり、諸団体と行政とが連携を構築できる場でもあり、また市の重要課題である「安心・安全のまちづくり」「青少年育成」につながる大切な施策であるため、継続して開催する。 平成29年度は開催会場であるメイシアターの改修工事に伴い、休止することとした。					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	地域安全・青少年育成吹田市民大会事業	事業区分	その他
事務事業番号	00988				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>86</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00988
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>大阪府が他市町に対して、少年非行防止活動ネットワーク(少年補導センター)の設置を進める際に、模範にしたいということで、本事業を少年非行防止活動ネットワーク(少年補導センター)として位置づけることを実行委員会で承認している。大会開催にあたり、実行委員会の構成がPTAの方々から高齢クラブの方々まで、年齢層も幅広いため、多くの方々に関心を持ってもらえるようなプログラムを組むことに毎年苦慮している。平成23年度からは、限られた時間の中ではあるが、市民の誰でも参加できるように講演のみならず、警察による防犯活動の啓発、音楽演奏の3部構成としている。平成29年度は開催会場であるメイシアターの改修工事に伴い、休止することとした。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市青少年リーダー講習会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和49年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	吹田市青少年リーダー講習会開催要項													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	小学校5年生から中学生												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	野外活動等の体験を通して、青少年リーダーとしての知識・技術を習得する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年リーダー育成を図る。												
(7) 事業概要	野外活動等の実習を通して、青少年リーダー養成事業として、宿泊キャンプやゲーム研修などから基礎的知識・技術を学び、地域で活躍する青少年リーダーの養成のきっかけづくりとして実施する。実施場所として、吹田市自然体験交流センター(わくわくの里)、吹田市立少年の家(もくもくの里)等、子どもたちに親しみやすい「吹田市キャンプクラブ」の事業名称で実施している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		423	352	403	317	402							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	2,416						
	総事業費(A+B)		2,929	2,764	2,854	2,687	2,818							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		2,929	2,764	2,854	2,687	2,818						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,929	2,764	2,854	2,687	2,818								
財源計(C+D)		2,929	2,764	2,854	2,687	2,818								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 年間開催回数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	2.00
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,382.00	1,384.00	
			一般財源(単位:千円)	1,382.00	1,384.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 事業申込み人数	目標値	(単位:人)	120.00	100.00
	実績値			(単位:人)	83.00	81.00	
	達成度(%)		69.2	81.0			
	目標値の積算方法	参加者定員	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	33.30	34.17	
			一般財源(単位:千円)	33.30	34.17		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>こども会活動を含め、地域で活躍するリーダー活動のきっかけ作りとして、小・中学生の時期にキャンプ活動などの自然体験活動・野外活動の場の提供を通じてリーダーを継続して養成することは大切であり、今後も継続すべきと考える。しかしながら、児童数の減少に加え、子どもたちの選択肢が増えていることから、開催回数を見直しするとともに春・冬のいずれか参加も可能にしている。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田市青少年リーダー講習会	事業区分	その他
事務事業番号	00989				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	青少年室	事務事業番号	00989
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>これまでは、目的をこども会活動で活躍するリーダー養成を行ってきたが、少子化等でこども会活動が衰退している現状から、こども会活動のみならず、さまざまな分野で将来活躍するボランティアリーダーを志す者のきっかけ作り(興味付け)として、この事業を位置づけし、実施することとしている。また、対象小学5年生～中学3年生までが参加しやすいように、野外活動や自然体験などを中心としたプログラムにより、リーダーの養成を担っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市・若狭町子ども会リーダー交歓会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和45年度	改正内容	両市町共に、ホームステイの受け入れ先の確保が困難な状況となったため協議の結果、平成18年度よりホームステイは中止することとした。											
(2) 直近の改正	平成18年度													
(3) 根拠法令等	吹田市・若狭町子ども会リーダー交歓会実施要項													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内子ども会のリーダー											
	結果(どのような効果が得られるのか)	若狭町のリーダーと交流を行う。												
(7) 事業概要	昭和45年(1970年)に吹田市で開催された万国博覧会に、本市が福井県三方町(現若狭町)の子ども達を招待したことを契機に隔年ごとに両市町を訪問し、子ども会リーダー同士の交流を深めることを目的としている。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	03	中事業	01	小事業	02
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		395	303	257	172	338							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	2,416						
	総事業費(A+B)		2,901	2,715	2,708	2,542	2,754							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,901	2,715	2,708	2,542	2,754							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,901	2,715	2,708	2,542	2,754								
財源計(C+D)		2,901	2,715	2,708	2,542	2,754								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	開催日数	目標値	(単位:日)	3.00	3.00	3.00
			実績値	(単位:日)	3.00	3.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	自然体験プログラムなどを3日間で実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	905.00	874.33		
				一般財源(単位:千円)	905.00	874.33		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	交歓会参加者人数	目標値	(単位:人)	32.00	32.00
	実績値			(単位:人)	26.00	25.00	/	
	達成度(%)		81.3	78.1				
	目標値の積算方法	おおむね小学校区から1名	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	104.42	104.92		
				一般財源(単位:千円)	104.42	104.92		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	吹田市の参加者は、こども会加入数の減少により活動が低迷し、こども会リーダーが集まらず、若狭町とこの事業のとらえ方に大きな隔りがある。また、子どもたちと一緒に活動してもらおうボランティアリーダースタッフについても集めるのに苦慮している。しかしながら、長年継続してきた事業であり、親子2代での参加者もあり、吹田市こども会育成協議会と協議し形を変えたうえで今後も継続すべきと考える。						

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田市・若狭町子ども会リーダー交歓会事業	事業区分	その他
事務事業番号	00990				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00990
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>フレンドシップ協定を結んでいる若狭町と約40年にわたり継続している事業である。当初、子ども会の交流として始まった事業であり、参加費を徴収して実施している。若狭町では、現在も子ども会や子ども会リーダーの活動が継続して行われているが、吹田市では子ども会も子ども会リーダーの活動も縮小しており、リーダーがなかなか育っていないのが現状である。産業構造や人口などが大きく異なる吹田市と若狭町の子どもたちが交流するこの事業はとても意義あるものとするため、事業の主旨を活かしつつ、対象の見直しなどについて関係団体等と協議していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市スカウトリーダー養成事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田市スカウトリーダー養成事業													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	ボーイスカウト・ガールスカウト												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	リーダー養成事業を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	資質の向上、次代を担うスカウトリーダーの養成を行う。													
(7)	事業概要	<p>青少年活動指導者養成の一環として、スカウトリーダーの養成講習会を開催。 ボーイスカウト、ガールスカウトに加盟登録し、講習会や研修会を実施することにより、スカウト運動の原理とその方法を正しく理解し、青少年の健全育成に役立てることを目的とする。</p>													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	03	中事業	01	小事業	03
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		100	100	100	100	100							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
		総事業費(A+B)		936	904	917	890	906							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		936	904	917	890	906							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	936		904	917	890	906									
財源計(C+D)		936	904	917	890	906									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市スカウト連絡協議会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 スカウトリーダー講習会参加者数	目標値	(単位:人)	370.00	400.00	540.00
			実績値	(単位:人)	263.00	441.00	
		達成度(%)		71.1	110.3		
	目標値の積算方法	講習会や研修会の予定参加者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.44	2.08	2.08
				一般財源(単位:千円)	3.44	2.08	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		講習会や研修会の開催数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 講習会や研修会の開催数	目標値	(単位:回)	6.00	6.00
	実績値			(単位:回)	6.00	6.00	
	達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	講習会や研修会の開催数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	150.67	152.83	152.83
				一般財源(単位:千円)	150.67	152.83	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		スカウト運動の原理とその方法の基本を正しく理解するため、リーダー養成講習会や研修会を実施している。 次代を担うスカウトリーダーの養成、青少年健全育成に寄与する事業であるとする。					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田市スカウトリーダー養成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00991				

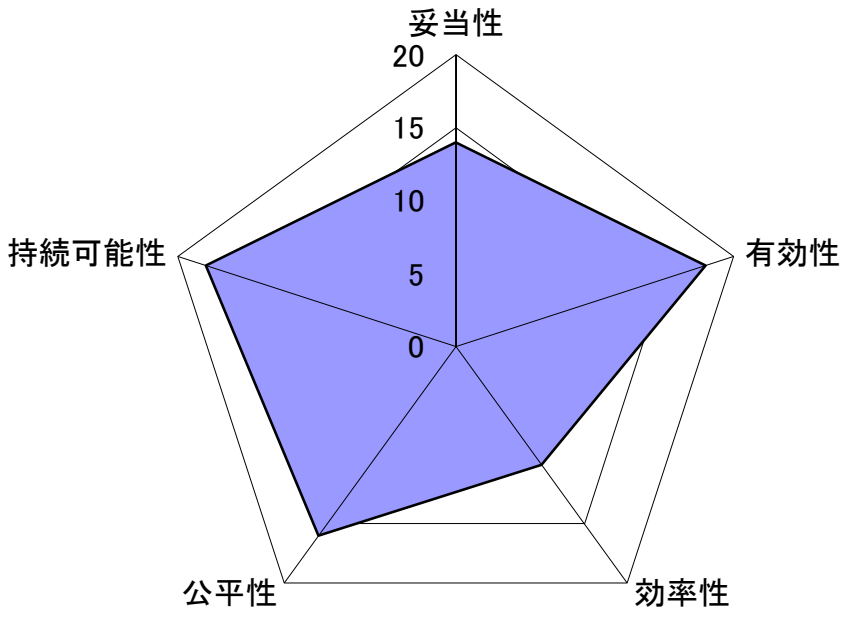
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00991
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、吹田市スカウトリーダー協議会に委託して実施している。 ボーイスカウト及びガールスカウトは、独自の活動のほか、地域や市が主催する事業にも積極的に参加・協力をいただいております。市としても引き続きスカウトリーダー養成を支援していくべきと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	青少年指導者講習会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成元年	改正 内容	こども会育成者指導者講習会を統合											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	青少年指導者講習会開催要項													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	青少年活動に関わっている人、今後関わる人											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年健全育成にむけた指導者の養成												
(7) 事業概要	<p>青少年の健全育成を推進するために、その時々課題となる薬物乱用、ネットいじめなどに関する講演、こどもとの付き合い方などの指導、救急法やレクリエーションなどの実技の講座等を開催。こどもを取り巻く課題を啓発し、地域の大人の目と心でこどもを見守り、育てる環境作りを進めるための指導者の育成を図る。</p>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	03	中事業	01	小事業	04
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		130	121	130	85	130							
	人件費	職員数	人	0.40	0.30	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	3,341	2,412	2,451	2,370	2,416						
	総事業費(A+B)		3,471	2,533	2,581	2,455	2,546							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,471	2,533	2,581	2,455	2,546							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,471	2,533	2,581	2,455	2,546								
財源計(C+D)		3,471	2,533	2,581	2,455	2,546								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 実施回数	目標値	(単位:回)	6.00	6.00	6.00	
			実績値	(単位:回)	6.00	8.00		
		達成度(%)		100.0	133.3			
	目標値の積算方法	実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		422.17	317.00	
				一般財源(単位:千円)		422.17	317.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 参加者数	目標値	(単位:人)	324.00	432.00	324.00
	実績値			(単位:人)	270.00	345.00		
	達成度(%)		83.3	79.9				
	目標値の積算方法	小学校区×1.5人×実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		9.38	7.35	
				一般財源(単位:千円)		9.38	7.35	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容				目標		
②	成果内容				達成状況			
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		地域の青少年に関わる方々を対象として青少年の健全育成を推進するために、その時々課題となる薬物乱用、ネットいじめなどに関する講演、こどもとの付き合い方などの指導、救急法やレクリエーションなどの実技の講座等を開催。地域の大人の目と心でこどもを見守り、育てる環境作りを進めるための指導者の育成を図る。						

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年指導者講習会	事業区分	その他
事務事業番号	00992				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00992
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域などで青少年活動に関わっている人やこれから関わる人に、子どもとの関わり方や救急法など、必要な知識や技能を習得する機会の提供を行うことは必要であると考え。従前は子ども会の育成者、青少年指導員対象者、太陽の広場安全管理員対象の研修など、個別に開催していたが内容が共通しているものについては、青少年指導者講習会としてこの事業への統合を行なったことにより、様々なテーマで開催することができている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	地区青少年健全育成事業への助成事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正 内容	「吹田市地区青少年健全育成事業補助金交付要綱」を廃止し、「吹田市地区青少年健全育成事業補助金交付要領」を制定											
(2)	直近の改正	平成29年度													
(3)	根拠法令等	「吹田市地区青少年健全育成事業補助金交付要領」													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	60							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	各地区青少年対策委員会(33地区)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地区青少年対策委員会が実施する青少年育成事業への助成を行い、地域における青少年の健全育成事業の充実を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域が一体となった子どもを守り育てる環境づくりを通じて、青少年の健全育成が図られる。													
(7)	事業概要	地区青少年対策委員会が実施する青少年の健全育成事業に対して補助金を交付し、地域における青少年活動の総合的な推進を図る。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		15,543	15,127	15,543	15,111	15,623							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.40						
			総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	3,221						
		総事業費(A+B)		18,049	17,539	17,994	17,481	18,844							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		18,049	17,539	17,994	17,481	18,844							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	18,049		17,539	17,994	17,481	18,844									
財源計(C+D)		18,049	17,539	17,994	17,481	18,844									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	各地区青少年対策委員会(33地区)										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 助成している青少年対策委員会数	目標値	(単位:地区)	33.00	33.00	33.00
			実績値	(単位:地区)	32.00	32.00	
				達成度(%)		97.0	
	目標値の積算方法	青少年対策委員会全地区(33地区)への助成	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		548.09	548.81
				一般財源(単位:千円)		548.09	548.81
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(2) 成果指標		①	指標内容 青少年対策委員会主催事業への参加人数	目標値	(単位:人)	123,209.00	105,661.00
	実績値			(単位:人)	55,000.00	70,000.00	
			達成度(%)		44.6	66.2	
	目標値の積算方法	補助対象青少年数(30歳未満)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.32	0.25
				一般財源(単位:千円)		0.32	0.25
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地域の実情やニーズに合わせた事業展開が可能であり、効果も大きいと考える。また、地域が事業を自ら計画・実施し、市が補助していくことが地域の教育力を拡大させる意味からも重要であり、今後も継続する必要があると考える。				

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	地区青少年健全育成事業への助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00993				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))



所属名	青少年室	事務事業番号	00993
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域における青少年の健全育成事業は、地域の青少年関係団体で組織された地区青少年対策委員会が主体となり実施することにより、地域の実情やニーズに合わせた事業展開が可能であり、効果も大きいものとする。引き続き市が補助していくことが地域の教育力を拡大させる意味からも重要であり、今後も継続する必要があると考える。平成27年4月から千里丘北小学校が開校しているが、青少年対策委員会等、地域の団体がまだ整備されていないので、整備された時点で補助していきたい。</p> <p>平成29年度の補助金交付事務からは、要領に30歳未満の者を青少年とすることを明記し、青少年人口を前年度の11月30日を基準として、交付決定の基準が現状と乖離することがないように調整を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	青少年健全育成保険加入等事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	60							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	青少年の健全育成活動中の指導者等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	「市民活動災害補償制度」の対象外となる指導者等について、保険加入												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保険制度の整備により、青少年健全育成活動の充実を図る。													
(7)	事業概要	<p>市の総合的な市民活動を対象とした保険制度である「市民活動災害補償制度」の対象外となる部分について、保険に加入し、指導者等が安心して、活動できるようにする。</p> <p>①「青少年健全育成活動保険」→市の主催事業等で宿泊をとまう事業で参加者がケガをした場合                  ②「学校週5日制学校開放事業保険」→土曜日の学校開放時に参加者がケガをした場合                  ③「こどもプラザ事業フレンド保険」→太陽の広場で見守りを行う有償ボランティアがケガをした場合</p>													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	03	中事業	02	小事業	02
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,452	1,420	1,130	688	1,131							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		3,123	3,028	2,764	2,268	2,742							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		3,123	3,028	2,764	2,268	2,742							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0									
	その他	0	0	0	0	0									
	一般財源	3,123	3,028	2,764	2,268	2,742									
財源計(C+D)		3,123	3,028	2,764	2,268	2,742									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 保険適用件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	2.00	1.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,514.00	2,322.00		
			一般財源(単位:千円)	1,514.00	2,322.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	保険加入等により、安心して青少年健全育成活動を行うことができおり、円滑な事業運営につながっている。			達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		「市民活動災害補償制度」ではカバーできない有償ボランティアの方などの事故を保障するため加入している。青少年の健全育成を推進するため、地域では様々な事業が行われているが、それらを支えるボランティアの市民の方々が安心して活動できるよう援助するため、保険制度に加入することは必要であり継続すべきと考える。				

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年健全育成保険加入等事業	事業区分	その他
事務事業番号	00995				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00995
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ボランティア等の力を借りて行事を開催する際の怪我や事故への対応については、市の市民活動災害補償制度が基本となるが、宿泊を伴う行事や有償ボランティアについては対象とならない。青少年に関わる市民ボランティアの活動を側面から援助するため、保険制度に加入することは必要であると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	非行防止・環境整備事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和60年度	改正内容	子ども・若者育成支援推進法の施行により、従来の「青少年健全育成強調月間」が「子ども・若者育成支援推進月間」に名称変更											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	青少年及び一般市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	11月を「子ども・若者育成支援強調月間(旧青少年健全育成強調月間)」と定め、家庭・学校・地域が一体となり、青少年の健全育成に対する啓発とその活動への参加を促進する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の健全育成を図る。													
(7)	事業概要	<p>各地区の青少年指導員、各地区青少年対策委員会が中心となって、以下の事業を実施。          啓発活動: チラン、のぼり、懸垂幕による啓発。非行防止用各種啓発用視聴覚機器(フィルム・ビデオ等)の貸し出し。有害な図書類の販売及び貸付けの自粛協力依頼。街頭宣伝活動の実施。          実践活動: 全市一斉パトロール。青少年の自発的な清掃奉仕、環境美化活動の推進。「青少年健全育成協力店」の実態調査と連絡強化。</p>													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	03	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		317	301	300	451	270							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		1,988	1,909	1,934	2,031	1,881							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,988	1,909	1,934	2,031	1,881							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,988	1,909	1,934	2,031	1,881								
財源計(C+D)		1,988	1,909	1,934	2,031	1,881									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	各地区の環境整備事業(パトロール)の実施率	目標値	(単位:回)	66.00	66.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	64.00	64.00		
			達成度(%)		97.0	97.0		
	目標値の積算方法	各地区パトロール実施回数(2回)×33地区	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		29.83	32.58	
				一般財源(単位:千円)		29.83	32.58	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標	①	後期全市一斉合同パトロール参加者数	目標値	(単位:人)	1,320.00	1,320.00	0.00	
			実績値	(単位:人)	2,130.00	2,085.00		
			達成度(%)		161.4	158.0		
	目標値の積算方法	実施回数(2回)×33地区×20人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.90	1.00	
				一般財源(単位:千円)		0.90	1.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>青少年の非行防止、健全育成を図るため、年2回、全市一斉パトロールを青少年指導員会及び地区青少年対策委員会の協力を得て実施している。今後も、警察等の関係機関や青少年団体にも協力を呼びかけ、市民ぐるみで青少年を守り育成していかなければならないと考える。各地区青少年指導員が中心となり、パトロール、清掃奉仕などの実践活動と有害図書類などの販売自粛協力依頼などの啓発活動を実施し、地域の青少年非行防止・環境整備に努めていることは大きな成果である。</p>					

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	非行防止・環境整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	00996				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	青少年室	事務事業番号	00996
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

全市一斉合同パトロールなどの機会を捉えて、自ら設置した看板の定期的な点検や、地図への落とし込みを実施している。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>青少年の非行防止、健全育成を図るため、年2回、全市一斉パトロールを青少年指導員会及び地区青少年対策委員会の協力を得て実施している。今後も、警察等の関係機関や青少年団体にも協力を呼びかけ、市民ぐるみで青少年を守り育成していかなければならないと考える。各地区青少年指導員が中心となり、パトロール、清掃奉仕などの実践活動と有害図書類などの販売自粛協力依頼などの啓発活動を実施し、地域の青少年非行防止・環境整備に努めていることは大きな成果である。平成27年4月に開校した千里丘北小学校区でも青少年関係団体が整い、パトロール等が実施できるよう支援していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

内閣府では、7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、関係省庁、地方公共団体及び民間団体の参加・協力を得て、関係諸事業、諸活動を集中的に実施するなどして、より多くの国民が子ども・若者育成支援と非行・被害防止に関心を高め、取り組みを進めるよう主唱している。



## 事務事業評価調書

事務事業名	自然体験活動・環境教育推進事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	60							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内の不登校傾向の小中学生												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	自然体験活動を通じ、人との関わりを持たせ自立へと導くよう支援する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生きる力を養い、豊かな人間性を育むことにより、社会の一員として、自己有用感を持たせる。													
(7)	事業概要	不登校、いじめ、ひきこもりなど様々な問題を抱えた青少年が、自然体験活動や環境教育を通して思いやりの心や社会性を身につけ「生きる力」を自ら育むための施策の一環として山の学校・海の学校事業(さわやか元気キャンプ)を実施。雪遊び、スキーなどの自然体験と家を離れ、仲間と共に過ごす生活体験活動を展開しておりその事業のほか、野外活動、自然体験活動のための専門指導員(非常勤職員)を配置する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,996	3,546	4,000	3,595	3,661							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
		総事業費(A+B)		4,832	4,350	4,817	4,385	4,467							
		特定財源(C)		17	16	17	0	12							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		17	16	17	0	12						
		市負担(D)		4,815	4,334	4,800	4,385	4,455							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			4,815	4,334	4,800	4,385	4,455								
財源計(C+D)		4,832	4,350	4,817	4,385	4,467									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 「さわやか元気キャンプ」参加者数	目標値	(単位:人)	60.00	50.00	/
			実績値	(単位:人)	30.00	29.00	
			達成度(%)		50.0	58.0	
	目標値の積算方法 募集定員	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	145.00	152.14		
			一般財源(単位:千円)	144.47	152.14		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 「さわやか元気キャンプ」開催数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	/
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 「さわやか元気キャンプ」実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,175.00	2,206.00		
			一般財源(単位:千円)	2,167.00	2,206.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		不登校児童生徒を対象とした「山の学校・海の学校事業」等の自然体験活動を担当する自然体験活動専門指導員(非常勤職員)を配置。その非常勤職員報酬等を計上している。 専門指導員が、自然体験を通じて、不登校傾向にある小中学生を自立へと導くよう支援しており、今後も継続して実施すべき事業と考える。				

# 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	自然体験活動・環境教育推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00997				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	青少年室	事務事業番号	00997
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>不登校の児童生徒が通う「光の森」「学びの森」と連携をはかりながら、児童生徒との関係を深め、「さわやか元気キャンプ」の参加を促しながら、学校復帰への準備の一助を担っている。 自然体験活動専門指導員は、元教員であり、学校等の実情にも明るく、より一層の連携が期待できるものと考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	山の学校・海の学校事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正 内容					
(2) 直近の改正							
(3) 根拠法令等							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 60			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内の不登校傾向の小中学生				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	自然体験活動を通じ、人との関わりを持たせ自立へと導くよう支援する。					
	生きる力を養い、豊かな人間性を育むことにより、社会の一員として、自己有用感を持たせる。						
(7) 事業概要	不登校、いじめ、ひきこもりなど様々な問題を抱えた青少年が、自然体験活動や環境教育を通して思いやりの心や社会性を身につけ「生きる力」を自ら育むための施策の一環として山の学校・海の学校事業(さわやか元気キャンプ)を実施。海洋体験(カヌー等)、雪遊び、スキーなどの自然体験と、家を離れ仲間と共に過ごす生活体験活動を展開している。						
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 05	目 02	大事業 04	中事業 01	小事業 02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		825	549	808	471	808
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
		総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370
	総事業費(A+B)		3,331	2,961	3,259	2,841	3,224
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0
		国		0	0	0	0
		府		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	0
	(内訳)	市負担(D)		3,331	2,961	3,259	2,841
		地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
一般財源		3,331	2,961	3,259	2,841	3,224	
財源計(C+D)		3,331	2,961	3,259	2,841	3,224	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 「さわやか元気キャンプ」参加者数	目標値	(単位:人)	60.00	50.00	/
			実績値	(単位:人)	30.00	29.00	
		達成度(%)		50.0	58.0		
	目標値の積算方法 募集定員	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	98.70	100.76		
			一般財源(単位:千円)	98.70	100.76		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 「さわやか元気キャンプ」開催数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00
	実績値			(単位:回)	2.00	2.00	
	達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,480.50	1,461.00		
			一般財源(単位:千円)	1,480.50	1,461.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>自然とふれあうことで自信、自尊心の回復、そして、対人関係の改善、生活リズムの調整につなげるための一環として取り組みを進めている。</p> <p>また、スタッフについても参加者の心理的な負担を考慮し、光の森・学びの森のスタッフに協力を要請している。その結果、「さわやか元気キャンプ」が自信の獲得など学校復帰への準備の手助けになると考えており、この事業が直接の理由とは断言できないが、学校等との連携により、参加者の中から学校に復帰した児童生徒もいる。</p> <p>現在、施設使用料、宿泊料、食事代等は、参加者から徴収して実施しているが、不登校状況にある児童生徒の中には、経済的な理由でこの事業に参加できない可能性があるため、今後、生活保護世帯に対して減免制度を設け、生活保護世帯は無料で参加できるようにする。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	山の学校・海の学校事業	事業区分	その他
事務事業番号	00998				

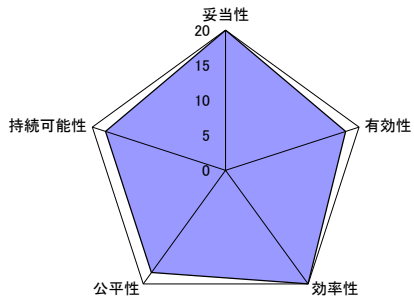
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>94</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00998
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>不登校児童生徒が、将来のニートや引きこもりになる恐れは十分にあり、義務教育の間の早い段階であれば、キャンプ参加後のフォローなど、学校との連携が可能である。</p> <p>また、参加者やスタッフの募集についても学校や光の森、学びの森と連携して取り組んでいる。いわゆる「元気なこどもを対象とした自然体験活動」は民間やNPO団体等が数多く実施しているが、不登校児童生徒を対象としたキャンプはまだ少ない。</p> <p>このキャンプに行けば直ぐに学校に復帰するというのではないが、学校を休みがちな「登校渋り」の子どもも含めて、キャンプ生活で自信をつけることで学校生活に復帰することを期待して、継続すべきと考えている。</p> <p>過去のさわやか元気キャンプに参加し、現在高校生になっている生徒の協力を得られるか検討中。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	こどもプラザ事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正内容	補助事業から委託事業に変更している。 平成25年度より太陽の広場拡充実施事業を統合し、こどもプラザ事業として実施。											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	こどもプラザ事業実施要領、放課後子ども総合プラン													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		市が実施する事業について、大阪府の補助金制度を活用している。											
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内小学校の全児童											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	小学校の運動場などを利用して、児童が安心して安全に過ごせる居場所や体験活動の機会などを提供する。 地域が一体となって子どもを守り育てる環境づくりを通じて児童の健全育成を図る。												
(7) 事業概要	児童が安心して安全に過ごせる居場所や体験活動の機会を提供するため、小学校の運動場などを利用し放課後に「太陽の広場」、土曜日等に「地域の学校」を実施している。また、この事業を通じて、子どもに関わる地域の大人の教育コミュニティの形成を目指している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		30,453	26,363	32,460	28,782	32,280							
	人件費	職員数	人	1.40	1.80	1.40	1.50	1.50						
		総額(B)	千円	11,693	14,471	11,438	11,850	12,078						
	総事業費(A+B)		42,146	40,834	43,898	40,632	44,358							
	特定財源(C)		3,716	3,475	3,696	3,433	3,635							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		3,663	3,454	3,643	3,404	3,593						
		その他		53	21	53	29	42						
	市負担(D)		38,430	37,359	40,202	37,199	40,723							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		38,430	37,359	40,202	37,199	40,723								
財源計(C+D)		42,146	40,834	43,898	40,632	44,358								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	市内の各中学校区地域教育協議会										
			②											
			③											
	主な委託内容		こどもプラザ事業の運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 こどもプラザ事業の実施校	目標値	(単位:校)	36.00	36.00	36.00	
			実績値	(単位:校)	36.00	36.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	こどもプラザ事業の実施校	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,134.28	1,139.92	
				一般財源(単位:千円)		1,037.75	1,044.56	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 こどもプラザ事業の実施回数	目標値	(単位:回)	2,243.00	2,398.00	2,300.00
	実績値			(単位:回)	2,114.00	2,250.00		
	達成度(%)			94.2	93.8			
	目標値の積算方法	前年度のこどもプラザ事業の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		19.32	18.24	
				一般財源(単位:千円)		17.67	16.71	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>子どもたちの安心安全な居場所として、学校の運動場や図書室などを利用して、放課後の居場所づくりとしてはふさわしいものと考えている。地域においても、子どもを守り育てる環境づくりを通じて児童の健全育成にもつながっており、更に本事業の趣旨である市民全体の協働として、フレンドなど地域住民の関わりを促していることから事業の効果は得られていると考えている。</p> <p>平成28年度は、水曜日に雨の日が多く中止になった広場もあるが、開催予定回数・実施回数とも増加している。</p> <p>今年度からスタートした新たな活動プログラムを29校で114講座開催することができ、留守家庭児童育成室の子どもも含めて全ての児童に体験活動の場を提供する事ができた。</p> <p>平成27年度に新設された千里丘北小学校では、今年度は27回実施予定し、22回実施することができた。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	こどもプラザ事業	事業区分	その他
事務事業番号	00999				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>94</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00999
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

放課後子ども総合プランでは、こどもプラザ事業と留守家庭児童育成室の両事業が連携して、放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことを目指しており、具体的には  
 (1) 同一の小学校内等で両事業を実施  
 (2) 全ての児童がこどもプラザ事業の活動プログラムに参加できる  
 (3) 活動プログラムの企画段階から連携して取り組む  
 (4) 留守家庭児童育成室については、条例を根拠として実施  
 上記の4項目について、本市では、国に先駆けてプランの趣旨・目的は一定満たしている。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>放課後子ども総合プランを進めるにあたり、留守家庭児童育成室との更なる連携が必要であるため、協議の機会を多く持ち、連携を進めている。また、事業に携わる安全管理員(フレンド)を確保する方策や、実施場所を確保することも引き続き検討課題である。平成28年度は留守家庭児童育成室の児童を含む全ての児童に体験活動の場を提供する新たな「活動プログラム」を29小学校・114講座実施する事ができ、太陽の広場の活性化を図ることができた。今後は、各広場で地域の指導者による様々な活動プログラムを広めるなど、内容の充実を図り、週1回以下の学校については、開催回数の増加をお願いしていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年8月「放課後子ども総合プラン」を文部科学省・厚生労働省が発表。平成29年1月23日付けで国が同プランの進捗状況を発表しており、全1,741市町村中、本市のように①同一小学校内で留守家庭児童育成室と太陽の広場を実施している市町村数は356(20.4%)、②そのうち共通プログラムを実施している市町村数は209(12.0%)である。この現状を踏まえて、本市は全国に先駆けて、同プランの目標を満たしているものと分析している

## 事務事業評価調書

事務事業名	こどもプラザ運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容	こどもプラザ事業推進本部運営事業をこどもプラザ運営事業に名称変更											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	こどもプラザ運営事業設置要領、放課後子ども総合プラン													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	各小学校のこどもプラザ事業												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	こどもプラザ事業の実施について、その評価検証・支援を行うと共に、学校や他事業との連絡調整を行い事業の円滑な実施を図っていく。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	こどもプラザ事業等の事業を円滑に進めることが出来、子どもたちの安心安全な放課後の居場所づくりに貢献できる。												
(7)	事業概要	こどもプラザ事業の円滑な実施を図るため、事業に対する評価検証・支援を行なう。また学校や他事業との連絡調整、事業に携わるボランティアスタッフへの研修の実施などを行ない、事業の円滑な実施を図ることを内容としている。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	05	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,103	3,418	4,055	4,028	4,308							
		人件費	職員数	人	0.90	1.20	0.80	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	7,517	9,647	6,536	7,900	8,052						
		総事業費(A+B)		11,620	13,065	10,591	11,928	12,360							
		特定財源(C)		68	51	68	65	64							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	50	44	50	50	50							
			その他	18	7	18	15	14							
		市負担(D)		11,552	13,014	10,523	11,863	12,296							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	19	0	0	0	0							
一般財源	11,533		13,014	10,523	11,863	12,296									
財源計(C+D)		11,620	13,065	10,591	11,928	12,360									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 フレンド連絡会の開催回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	3.00	
			実績値	(単位:回)	3.00	0.00		
			達成度(%)		100.0	0.0		
	目標値の積算方法	学期に1回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,355.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		4,338.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 フレンド連絡会の参加者数	目標値	(単位:人)	108.00	108.00	108.00
	実績値			(単位:人)	135.00	144.00		
	達成度(%)			125.0	133.3			
	目標値の積算方法	各校から1名 36校×3回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		96.78	84.71	
				一般財源(単位:千円)		96.40	84.26	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容				目標		
	成果内容				達成状況			
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		<p>本事業としては、年3回のフレンド連絡会と各広場への巡回により、こどもプラザ事業の運営、事業の評価検討、他事業との連絡調整、事業に従事するスタッフへの助言等をおこなっている。</p> <p>吹田市放課後子ども総合プラン運営会議を定期的開催しており、放課後子ども育成課と連携を図っている。また、会議の構成員として地域の代表者やPTAの方の参加もいただき現場の意見も得ながら事業運営の参考にしている。</p>						



## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	こどもプラザ運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01000				

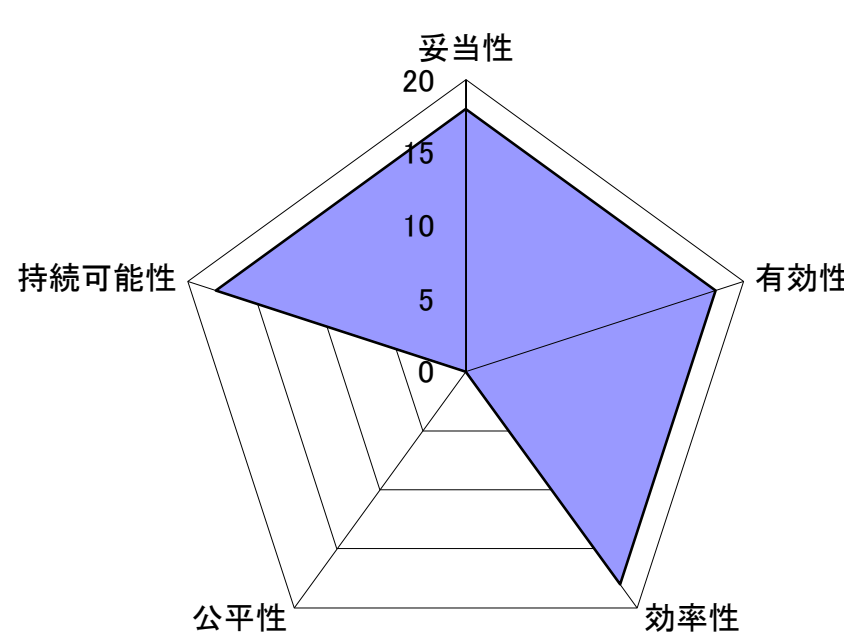
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	01000
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>こどもプラザ運営会議は、「太陽の広場」及び「地域の学校」のこどもプラザ事業の実施について、その評価検証・支援を行ってきた。平成27年度からは、吹田市放課後子ども総合プラン運営会議として、評価検証・支援に加え、地域の実情の中で、開催回数の増加と内容の充実を目指す方策を検討してきた。太陽の広場事業については、平成25年度から拡充校のみへの非常勤職員であるキャプテンの配置を見直し、ブロックアドバイザーとして全小学校を巡回させ、拡充校のノウハウを広めるようにした。また、平成28年度は水曜日のブロックアドバイザーを2名増員した。今後も引き続きブロックアドバイザーによる巡回指導を行い、持続可能な市民主体の協働事業の実現を目指す。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

“平成26年8月「放課後子ども総合プラン」を文部科学省・厚生労働省が発表。平成29年1月23日付けで国が同プランの進捗状況を発表しており、全1,741市町村中、本市のように①同一小学校内で留守家庭児童育成室と太陽の広場を実施している市町村数は356(20.4%)、②そのうち共通プログラムを実施している市町村数は209(12.0%)である。この現状を踏まえて、本市は全国に先駆けて、同プランの目標を満たしているものと分析している”



## 事務事業評価調書

事務事業名	自然体験交流センター管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和36年度	改正内容	使用料改正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市自然体験交流センター条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	施設の管理運営											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	自然体験活動や生涯学習の場として活動するとともに、交流の場として利用できるようにする。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民サービスの向上及び施設整備の充実、施設利用の促進を果たす。												
(7) 事業概要	<p>専門業者による施設整備の点検及び管理。          利用者が安心して利用できる施設の整備及び管理。          ○施設の概要 本館棟(宿泊室14室1、研修室、会議室、工作室、食堂、浴室)Aサイト(キャビン2棟)Bサイト、Dサイト、わんぱくサイト(常設テント2張り)、野外食堂、多目的ホール、シャワー棟、旧管理事務所棟、プレイグラウンド          ○休所日 年末年始          ○利用申請 市内団体の宿泊利用は、利用希望つきの4ヶ月前の土曜日から2週間前まで(日帰りは1週間前まで)市外団体の宿泊利用は、利用希望つきの3ヶ月前の土曜日から2週間前まで(日帰りは1週間前まで)</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	05	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		85,246	85,120	83,423	83,421	102,664							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.30						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	2,416						
	総事業費(A+B)		86,917	86,728	85,057	85,001	105,080							
	特定財源(C)		4,901	6,964	5,269	7,305	6,144							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	4,901	6,964	5,269	7,305	6,144							
	市負担(D)		82,016	79,764	79,788	77,696	98,936							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		82,016	79,764	79,788	77,696	98,936								
財源計(C+D)		86,917	86,728	85,057	85,001	105,080								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般財団法人大阪市青少年活動協会										
			②											
			③											
	主な委託内容		指定管理による施設の管理運営											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 利用日数	目標値	(単位:日)	347.00	347.00	347.00	
			実績値	(単位:日)	310.00	306.00		
		達成度(%)				89.3	88.2	
	目標値の積算方法	年間開所日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		279.77	277.96	
				一般財源(単位:千円)		257.30	254.08	
	②	指標内容	目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
(単位:)				0.00	0.00			
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 利用者数	目標値	(単位:人)	37,000.00	40,000.00	44,000.00
	実績値			(単位:人)	43,872.00	46,602.00		
	達成度(%)				118.6	116.5		
	目標値の積算方法	指定管理者の設定した目標値による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.98	1.83	
				一般財源(単位:千円)		1.82	1.67	
	②	指標内容	目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
(単位:)				0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		再整備事業により本館棟を建設し、条例を改正して利用対象者を拡大することにより青少年をはじめあらゆる世代が利用でき、生涯学習に取り組むことができるようになった。指定管理者とは月1回の連絡会議をもち、連携・指導を行うとともに、指定管理者による利用者アンケートの実施、利用者懇談会を年2回開催し、利用者のニーズを管理運営に活かす努力をしている。その結果、開所以来、利用者数は最多となった。また、使用料の見直しを行い、平成28年度の申請者から施設使用料の改定を行っている。平成28年度で第1回目の指定管理期間5年が終了するため、平成29年度から平成33年度の5年間の指定管理者の選定を行った。					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	自然体験交流センター管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01001				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	01001
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

指定管理者による施設運営が適切に行われているかを確認するため、毎月1回連携会議を開催している。その中で月次報告書、利用状況、アンケート結果などの報告を求めて意見交換などを行い、より良い運営を目指している。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>交通の利便性もよく、野外活動や自然体験が身近で行える特徴を活かしながら、さらに市民ニーズに合った事業を展開し、効率的かつ効果的な管理運営を行うため、指定管理者制度を平成24年度より導入し、利用者数が年々増加している。また、平成28年度に2度目の指定管理者の選定を行い、再度、現指定管理者に決定した。(指定管理期間 平成29年度～平成33年度)</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	青少年活動サポートプラザ施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	杉本 典生

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正内容	指定管理者制度導入及び市内青少年使用料無料の規定を設けるための改正											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市内の青少年											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市内の青少年が安心して学び、活動し、交流できる環境づくりを推進する。												
(7) 事業概要	青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、その成長又は発展に応じた支援を目的とする。主として、子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザの施設の貸館業務及び維持管理に係る事業。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	12	大	01	中	01	小	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		73,346	71,441	72,798	69,533	72,142							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50							
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950							
	総事業費(A+B)		77,522	75,461	76,883	73,483	80,194							
	特定財源(C)		5,827	5,800	5,745	6,119	5,919							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	5,827	5,800	5,745	6,119	5,919							
	市負担(D)		71,695	69,661	71,138	67,364	74,275							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		71,695	69,661	71,138	67,364	74,275								
財源計(C+D)		77,522	75,461	76,883	73,483	80,194								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海											
			②											
			③											
	主な委託内容		施設の維持管理業務、貸館業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	施設運営における連携会議の開催数	目標値	(単位:回)	12.00	12.00	12.00	
			実績値	(単位:回)	12.00	12.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	月1回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6,288.42	6,134.83	
				一般財源(単位:千円)		5,805.08	5,624.92	
				達成度(%)		100.0	100.0	
②	指標内容	夢つながり未来館運営協議会開催数	目標値	(単位:回)	4.00	4.00	4.00	
			実績値	(単位:回)	4.00	4.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年4回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		18,865.25	18,404.50	
				一般財源(単位:千円)		17,415.25	16,874.75	
				達成度(%)		100.0	100.0	
(2) 成果指標	①	青少年活動サポートプラザ使用料収入金額	目標値	(単位:千円)	5,778.00	5,668.00	5,853.00	
			実績値	(単位:千円)	5,724.00	6,038.00		
			達成度(%)		99.1	106.5		
			目標値の積算方法	各年度における青少年活動サポートプラザ使用料の予算額	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		13.18
	一般財源(単位:千円)					12.17	11.16	
	②	青少年活動サポートプラザ利用者数	目標値	(単位:人)	175,000.00	175,000.00	175,000.00	
			実績値	(単位:人)	169,565.00	169,607.00		
			達成度(%)		96.9	96.9		
目標値の積算方法			市内の30歳未満の青少年人口(平成26年3月末現在)と平成25年度における30歳以上の利用者数実績の合計値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.45	0.43
	一般財源(単位:千円)				0.41	0.40		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成26年4月から指定管理制度を導入し、同年10月にはインターネットによる施設の予約申し込みシステムを構築するなど、民間事業者のノウハウを活用した効率的な施設運営を行っています。こうした取り組みもあり、利用者数は年々増加していますが、今後も引き続き、利用者懇談会の開催や利用者アンケートの実施を通じて、利用者ニーズを把握し、さらなる利便性の向上と事業の効率化を図りながら、事業運営を継続していく必要があります。					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01005				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	01005
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 10, 持続可能性: 15.</p>		
(3)現状分析	<p>平成26年4月からの指定管理者制度を導入し、同年10月にはインターネットによる施設の予約申し込みシステムを構築するなど、民間事業者のノウハウを活用した効率的な施設運営を行っています。こうした取り組みもあり、利用者数は年々増加していますが、今後も利用者懇談会の開催や利用者アンケートの実施を通じて、利用者のニーズを把握し、さらなる利便性の向上と事業の効率化を図りながら、事業を継続していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	青少年活動サポートプラザ施設運営事業				
担当部署	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	杉本 典生

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 40			
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市内の青少年				
	結果(どのような効果が得られるのか)	市内の青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに青少年の居場所を基軸として、青少年の成長又は発展に応じた支援を行う。					
(7) 事業概要	市内の青少年の健全育成						
(7) 事業概要	青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、青少年の居場所づくりを基軸として、青少年が他者との関わりや様々な経験を通し、青少年自身が成長できるよう、その支援を行う。						
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 10	項 05	目 12	大事業 02	中事業 01	小事業 01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		24,332	22,223	24,726	20,514	21,915
	人件費	職員数	2.50	1.50	2.50	2.50	2.50
		総額(B)	千円	20,880	12,059	20,425	19,750
	総事業費(A+B)		45,212	34,282	45,151	40,264	42,045
	特定財源(C)		44	35	55	38	36
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	44	35	55	38	36
	市負担(D)		45,168	34,247	45,096	40,226	42,009
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		45,168	34,247	45,096	40,226	42,009	
財源計(C+D)		45,212	34,282	45,151	40,264	42,045	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	NPO法人すいた市民活動を活発にする会			
			②				
			③				
	主な委託内容		青少年交流活動支援業務				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 青少年活動サポートプラザ青少年委員会の開催回数	目標値	(単位:回)	6.00	6.00	/
			実績値	(単位:回)	10.00	11.00	
		達成度(%)		166.7	183.3		
	目標値の積算方法 2か月に1回開催する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,428.20	3,721.73		
			一般財源(単位:千円)	3,424.70	3,718.27		
	②	指標内容 青少年活動サポートプラザ主催事業開催回数	目標値	(単位:回)	24.00	24.00	
実績値			(単位:回)	27.00	30.00		
達成度(%)			112.5	125.0			
目標値の積算方法 1か月に2回開催する。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,269.70	1,364.63		
			一般財源(単位:千円)	1,268.41	1,363.37		
(2) 成果指標		①	指標内容 青少年活動サポートプラザにおける市内の30歳未満の青少年の利用者数	目標値	(単位:人)	107,268.00	107,268.00
	実績値			(単位:人)	94,239.00	96,319.00	
	達成度(%)		87.9	89.8			
	目標値の積算方法 市内における30歳未満の青少年人口(平成26年3月末日現在)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.36	0.43		
			一般財源(単位:千円)	0.36	0.42		
	②	指標内容 青少年活動サポートプラザ主催事業参加者数	目標値	(単位:人)	3,065.00	3,095.00	/
実績値			(単位:人)	3,324.00	3,728.00		
達成度(%)		108.5	120.5				
目標値の積算方法 平成24年度実績ベース(2,976人)で年1%ずつの増		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.31	10.98		
	一般財源(単位:千円)		10.30	10.97			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は子どもから大人への成長過程において、特に重要な青年期に関わる事業です。現在の青少年を取り巻く社会は日々変化しており、青少年のニーズは多様化、複雑化しています。そのため、青少年を取り巻く社会的な背景を十分理解し、青少年のニーズを把握しながら事業を進める必要があります。</p> <p>青少年に安心して過ごすことのできる居場所を提供し、青少年が様々な活動を通じて、情報を得、他者と交わることにより、自主性や協調性を育み、成長できるように支援する事業であり、利用者数など客観的な指標だけでは評価することが困難ですが、今後も引き続き、青少年が安心して過ごすことのできる環境を整え、個々の青少年に気を配りながら、青少年の支援に努めてまいります。</p>				

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ施設運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	01006				

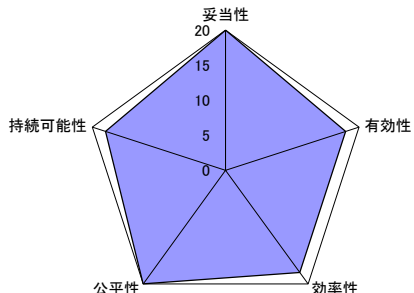
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	01006
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年の開館以来、青少年を取り巻く社会的な状況を背景に、青少年の家庭や学校でもない第3の居場所の提供を中心に、青少年が安心して過ごし、自主的に考え、主体的に活動できる環境づくりを整備してきました。</p> <p>本事業は利用者数などの客観的な指標だけでは評価がしにくいところもありますが、青少年を支援するボランティアを中心に、施設内において青少年との斜めの関係が形成され、年代を超えた様々な交流が見られるなど、青少年の第3の居場所としての成果は一定あったと言えるため、今後も引き続き、青少年のニーズを把握しながら、事業運営を行っていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	青少年活動サポートプラザ青少年相談事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	杉本 典生

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正 内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例、子ども・若者育成支援推進法						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 60			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	範囲等	吹田市内の概ね40歳未満の青少年とその保護者					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	様々な悩みを抱え、社会とのつながりが希薄になっている青少年の社会参画を促すとともに、就学前児童を持つ親の心のケアを行う					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の健全育成					
(7) 事業概要	臨床心理士などの資格を有した専門相談員がひきこもりやニート、不登校など社会参画において様々な課題を抱え、社会とのつながりが希薄になっている青少年やその家族に対し、相談事業をはじめ、各種支援事業を行う。さらに青少年の前段階として、就学前児童を持つ親に対し、子育て相談を実施し、子育てに対する不安の除去を行う。						
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 05	目 12	大事業 03	中事業 01	小事業 01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		32,485	32,324	34,453	32,107	38,025
	人件費	職員数	2.00	2.00	2.00	2.00	2.50
		総額(B)	16,704	16,078	16,340	15,800	20,130
	総事業費(A+B)		49,189	48,402	50,793	47,907	58,155
	特定財源(C)		133	133	139	107	126
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	133	133	139	107	126
	市負担(D)		49,056	48,269	50,654	47,800	58,029
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	49,056	48,269	50,654	47,800	58,029
財源計(C+D)		49,189	48,402	50,793	47,907	58,155	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②							
③							
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市社会的ひきこもりネットワーク会議の開催数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	/
			実績値	(単位:回)	7.00	4.00	
		達成度(%)		350.0	200.0		
	目標値の積算方法 年2回開催。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6,914.57	12,111.75		
			一般財源(単位:千円)	6,895.57	12,085.00		
	②	指標内容 青少年相談事業における支援方針会議	目標値	(単位:回)	52.00	52.00	
実績値			(単位:回)	51.00	50.00		
達成度(%)			98.1	96.2			
目標値の積算方法 週1回定期的に開催。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	949.06	968.94		
			一般財源(単位:千円)	946.45	966.80		
(2) 成果指標		①	指標内容 新規相談ケース数	目標値	(単位:ケース)	200.00	200.00
	実績値			(単位:ケース)	137.00	127.00	
	達成度(%)		68.5	63.5			
	目標値の積算方法 教育ビジョン平成31年度の目標値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	353.30	381.47		
			一般財源(単位:千円)	352.33	380.63		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	① 活動内容				目標		
	② 成果内容	相談者がおかれている状況は様々で、さらに相談の内容も多種多様で多岐にわたっており、単純に件数などの数値による評価は困難である。			達成状況	ケース数 240ケース (うち新規ケース数 127ケース)	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	近年、青少年を取り巻く社会環境は日々変化しており、社会参画に課題を抱えた青少年の問題も多様化し、複雑化しており、その支援には多くの困難が伴ってきています。これらの青少年をより早期に相談機関へつなげていくことが、早期社会復帰につながっていくことから、広報の方法や相談機関へのつなぎ方が課題となっています。本事業は面接相談をはじめ、電話相談、訪問相談の実施、フリールールの提供、家族会の運営、グループワークや自立支援講座、一般公開講座の開催など、相談者の実態やニーズに合わせ、様々な方法で相談者の支援を行っています。また課題を抱えた青少年がどのようにして、社会に参画していくのか、総合的な支援方策を見出すため、平成29年3月に「社会的ひきこもり」吹田市ネットワーク会議をもとに吹田市子ども・若者支援地域協議会を立ち上げ、よりいっそう関係機関が相互に連携しながら、支援できるよう、ネットワーク強化に努めます。					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ青少年相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	01007				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	01007
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>青少年を取り巻く社会環境は日々変化しており、そのニーズは多様化、複雑化しています。本事業における相談内容も多種多様であり、相談者がおかれている状況も様々です。そのため、件数など客観的な指標だけで事業を評価することは困難です。</p> <p>課題を抱えた青少年がどのようにして、社会に参画していくのか、総合的な支援方策を見出すため、平成29年3月に「社会的ひきこもり」吹田市ネットワーク会議をもとに吹田市子ども・若者支援地域協議会を立ち上げ、よりいっそう関係機関と連携しながら、支援できるよう、ネットワーク強化に努めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成29年3月に子ども・若者育成支援推進法に基づき、全国で102番目に吹田市子ども・若者支援地域協議会を設置しました。(大阪府下では、大阪府、堺市、茨木市、豊中市が設置済みです。)



## 事務事業評価調書

事務事業名	地域教育コミュニティ事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	事業費の使途基準の見直し				
(2) 直近の改正	平成25年度						
(3) 根拠法令等	地域教育コミュニティ実施要領						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	60
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	就学前児童・小学生・中学生				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	家庭・学校・地域が協働して、子どもたちの健全育成に取り組むため、地域教育協議会を中心に地域における教育ネットワークづくりを促進する。					
(7) 事業概要	学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を果たし、協働して継続的に子どもに関わる教育コミュニティの形成を目指し、各中学校地域教育協議会を設置し、地域での様々な活動ネットワークを図るための事業を各地域教育協議会に委託する。						
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		9,000	8,639	9,000	9,000	9,000
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,086	3,950
	総事業費(A+B)		13,176	12,659	13,086	12,950	13,026
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国		0	0	0	0
		府		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
	市負担(D)		13,176	12,659	13,086	12,950	13,026
	(内訳)	地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
一般財源		13,176	12,659	13,086	12,950	13,026	
財源計(C+D)		13,176	12,659	13,086	12,950	13,026	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 市内の各地域教育協議会				
			②				
			③				
	主な委託内容		地域教育活動事業、学校教育活動事業				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 地域コミュニティ形成のための諸活動	目標値	(単位:校区)	18.00	18.00	18.00	
			実績値	(単位:校区)	18.00	18.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	市内の中学校区の地域教育協議会	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		479.94	500.00	
				一般財源(単位:千円)		479.94	500.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 地域コミュニティ形成のための事業回数 (18中学校区×8事業)	目標値	(単位:回)	144.00	144.00	144.00	
			実績値	(単位:回)	149.00	145.00		
			達成度(%)		103.5	100.7		
	目標値の積算方法	市内の中学校区の地域教育協議会	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		57.98	62.07	
				一般財源(単位:千円)		57.98	62.07	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地域社会の連帯意識が希薄化する中、学校・家庭・地域社会が有する課題や情報を提供し合い、それぞれの教育力の向上を図りながら協働して子育てを展開し、地域社会全体で子どもたちを守り育てる環境の充実が図られている。現在はすべての中学校区で地域教育協議会が設立され、教育コミュニティづくりを目指して展開がされているところである。また、各協議会では地域の特色を生かして取り組みが実施されており、費用対効果の面では適正と考えている。					

# 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	地域教育コミュニティ事業	事業区分	その他
事務事業番号	01377				

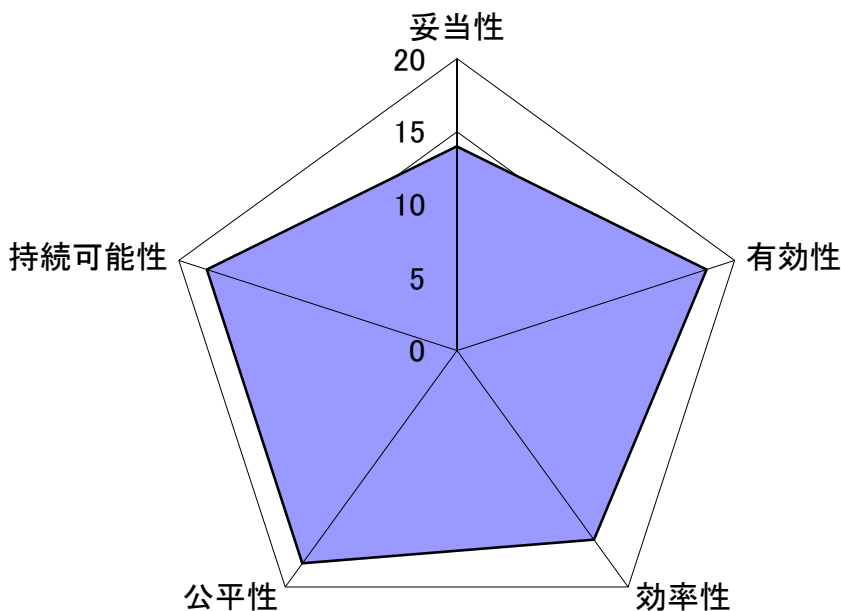
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	01377
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各地域で青少年の健全育成事業のため適正使用されているが、H24年度よりガイドラインの見直しをし、委託料をより有効活用してもらうように努めている。平成25年度からガイドライン見直しに伴い、地域教育協議会の会計担当者に対して説明会を開催している。</p> <p>学校・家庭・地域が協働して子どもたちの豊かな成長を育むため、地域活動を活性化し委託料を地域教育コミュニティづくりを進めるという趣旨で、各地域で活動を継続してもらっており、引き続き”顔と名前的一致する人間関係づくり”が進むよう事業を継続していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	青少年問題協議会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室	室課長名	室長 前田 隆男

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和48年度	改正 内容	会長と委員の要件に係る規定の廃止											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	地方青少年問題協議会法、執行機関の附属機関に関する条例、青少年問題協議会規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	60							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民および関係機関											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	青少年に関する問題の取組み及び諸施策の総合調整												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年を育てる家庭・地域づくりのために青少年に関する諸施策の総合的な企画及び推進												
(7) 事業概要	青少年問題の総合的施策の樹立についての調査審議及びその施策を実施するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	02	大事業	06	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		200	187	223	0	223							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.00							
		総額(B)	千円	2,506	2,412	2,452	0							
	総事業費(A+B)		2,706	2,599	2,675	0	2,639							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		2,706	2,599	2,675	0							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		2,706	2,599	2,675	0							
財源計(C+D)		2,706	2,599	2,675	0	2,639								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	協議会開催回数	指標値	(単位:回)	2.00	2.00	2.00
			実績値	(単位:回)	2.00	0.00	/
		達成度(%)		100.0	0.0		
	目標値の積算方法	過去の実績に基づく	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,299.50	0.00	
			一般財源(単位:千円)	1,299.50	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	指標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	指標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	指標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容			目標			
	②	成果内容	協議会を開催し、青少年問題について調査審議することにより、本市の事業に生かす。	達成状況	青少年拠点施設(夢つながり未来館)の整備		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	学識経験者、関係団体の代表者、市民等で構成する委員が、総合的な青少年施策について検討している。 昭和62年の答申から、約25年を経て、青少年拠点施設(夢つながり未来館)の整備が実現した。 平成28年度から、教育委員会の補助執行となっているが、社会教育委員会議や、子ども若者支援地域協議会などとの関連を整理するため、開催していない。平成29年度は他機関との関係を整理し、開催予定。					

## 事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年問題協議会事業	事業区分	その他
事務事業番号	01641				

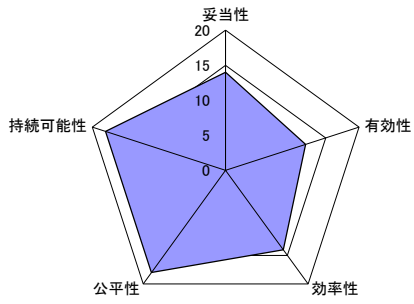
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	01641
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学識経験者、公共的団体等の代表者、市民等で構成する委員が、総合的な青少年施策について調査審議している。最近の青少年の状況では、暴走族、シンナー、喫煙などの非行から、携帯電話、インターネットの普及による青少年を取り巻く環境の変化への対応や、ひきこもり、ニートといった課題を抱える青少年への支援が求められている。</p> <p>北摂7市のうち、3市は青少年問題協議会を設置しておらず、他の協議会等で代替している。</p> <p>本市では、引きこもりや非行などを含めた課題を抱える青少年を支援するため、子ども若者育成支援推進法に基づく「吹田市子ども・若者支援地域協議会」を平成28年度に設置しており、この協議会や社会教育委員会議などとの関係を整理するため、平成28年度は開催していない。</p> <p>本市においても、青少年問題を含む包括的な審議会の設置も含め、協議会のあり方を検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成26年4月に、地方青少年問題協議会法が改正され、地方青少年問題協議会の会長及び委員の要件を定める規定を廃止、本市においても会長の委嘱の基準を定める規則の改正を行っている。

平成28年度から、担当所管を児童部子育て支援課から地域教育部青少年室へ変更した。(補助執行)